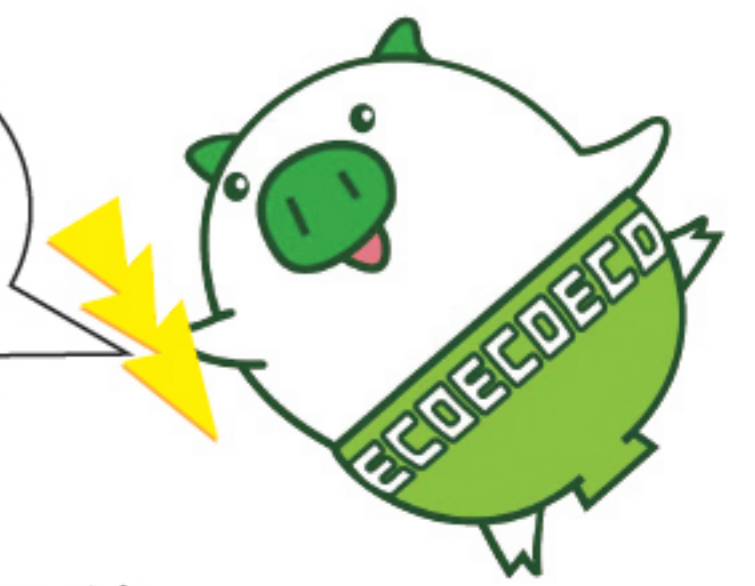


福岡県のエネルギー

福岡県では、地球に優しく、安定してエネルギーが使える環境づくりに取り組んでいるよ。わたしたちの身近なエネルギーについて学んでみよう。



エネルギーってなんだろう？

明かりをつけたり、お湯を沸かしたり、車を動かしたりする力のことを「エネルギー」っていうよ。「仕事をする力」ともいうんだ。

身近なエネルギー



電灯(明かり)
〈電気を使用〉



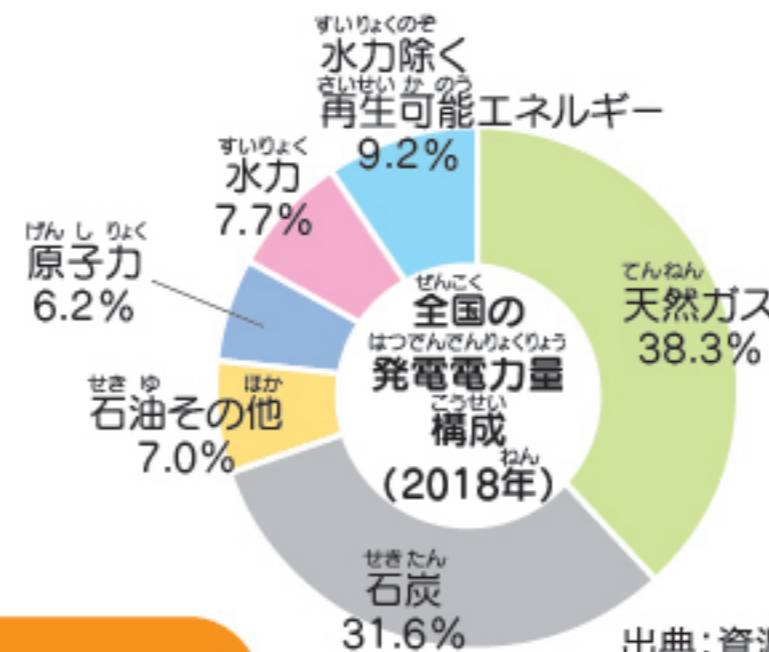
お風呂
〈ガスを使用〉



車
〈ガソリンを使用〉

エネルギーはどうやってつくるの？

わたしたちにとって一番身近なエネルギーは電気だね。電気の多くは天然ガスや石油、石炭を燃やしてつくるんだ。天然ガスや石油、石炭には限りがあるから、大事に使わないといけないね。



石油は残り約50年で使い終わってしまうといわれているよ。

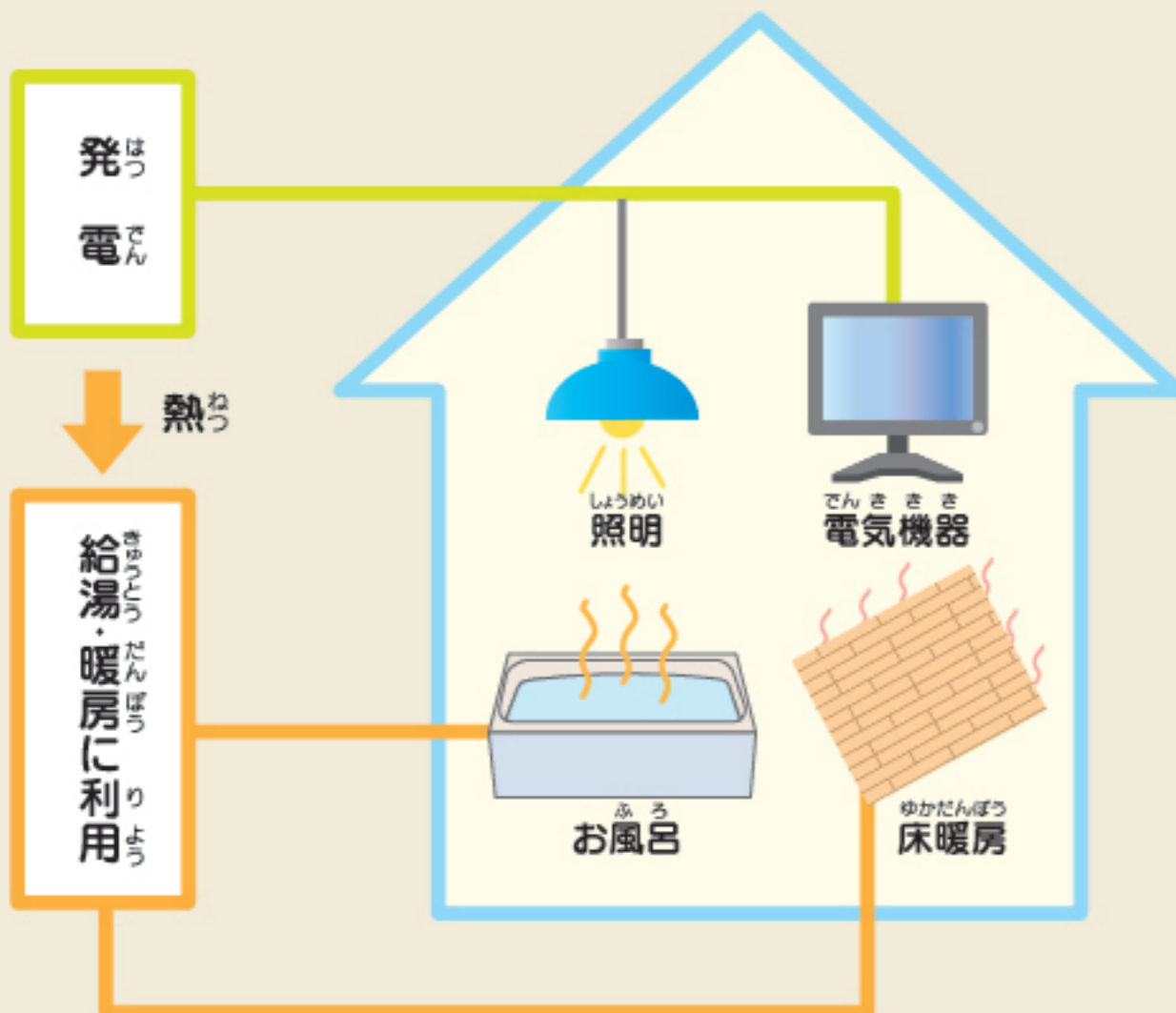


出典：資源エネルギー庁HP
公開資料(県で一部加工)

これからのエネルギーを見てみよう

エネルギーを無駄なくかしく利用 「コージェネレーションシステム」

コージェネレーションシステムとは、電気と熱を同時につくるシステムのことだよ。電気をつくり、その時に出る熱で部屋を暖めたり、お湯を沸かしたりすることができて、とても環境に優しいんだ。



自然からつくるエネルギー 「再生可能エネルギー」

太陽や風、川を流れる水の力などでつくられるエネルギーのことだよ。電気をつくる時に、地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど出さないし、資源が無くなることを心配しなくていいんだよ。



国の制度で新しくつくられた県内の再生可能エネルギー設備容量は全国6位で福岡県はとても進んでいるんだ。

太陽の光から電気をつくる
太陽光発電

北九州市 市民太陽光発電所
(北九州市)

風力で電気をつくる
風力発電

響灘風力発電所
(北九州市)

水の力で電気をつくる
水力発電

白糸の滝 小水力発電所
(糸島市)

木や生ごみなどで電気をつくる
バイオマス発電

おおき循環センター
「くるるん」(天来町)

